



小田集落の祭り



植物写真の撮影に没頭する学生



本格的に再開された共同利用実習



新潟大学演習林ニュースレター

Niigata University Forest Newsletter

新潟大学佐渡自然共生科学センター 演習林

第23号 2022年11月

古郡憲洋特任助教博士号取得のご報告

2021年4月より、佐渡自然共生科学センター演習林の特任助手として勤務しておりましたが、2022年3月に新潟大学大学院の博士後期課程を卒業し、博士(農学)の学位を取得しました。

2016年の研究室配属からこれまで多くの方々へ協力していただき研究活動を進めてきました。佐渡での調査や学生生活を

支えていただいた全ての方々へ心より感謝申し上げます。

今後は、引き続き佐渡演習林での共同利用業務や佐渡島をフィールドとした調査研究活動に励んで参りたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(特任助教 古郡憲洋)

小田集落の祭りに参加して

2021年4月より大学院への進学タイミングで、演習林の所在地でもある小田集落に移住しました。

小田集落の夷神社では毎年4月に小田祭りが開催され、「ササラ」、「四つ切」、「麦まき」と呼ばれる芸が演じられます。佐渡では小田集落のみで伝承されている芸能です。

佐渡研の学生も研究の合間にこの小田祭りを見に行くことがありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年、2021年は小田祭りに参加することができませんでした。しかし佐渡研



ササラを演じる堀田君

に入ってから3年目、そして佐渡に移住してから2年目にして初めてこの小田祭りに参加することができました。さらになんと初参加にも関わらず、芸の演者として参加することができ、「ササラ」



見事に演じ切りました!

を演じさせていただきました。

演者としての参加が決まってからは、祭りまでの2週間毎日練習会に参加し、熟練の集落の方々へ必死に食らいついていきました。祭り当日の朝には雨が降りましたが、開催時刻には雨が上がり、無事役目を全うして祭りを終えることができました。今でも大変貴重なことを体験できたと思います。

小田集落に移住したこと、小田祭りに関わることができたことは、私の人生の中でも忘れられない思い出の一つになりました。そして移住してきた私を快く迎え入れてくださった小田集落の皆様には、大変感謝しています。

(佐渡研究室 修士2年 堀田崇仁)

シリーズ

研究紹介⑱ 水田ビオトープ内の水環境の違いが植生および水生昆虫に与える影響

私は、水田ビオトープ内に形成される環境の違いと植生および水生昆虫の相互作用についての研究をしています。水田は、里地里山の中で最も広い面積を持つ水田環境であり、生物多様性に大きく貢献しています。しかし近年、耕作の放棄により水田が荒廃し、水田環境としての機能を失っています。現在佐渡には、耕作放棄水田を利用した水田ビオトープが多く存在します。水田ビオトープでは、植生の違いによって利用する生き物が異なり、多様な種の生息のためにそれぞれ異なった環境が重要です。したがって水田ビオトープ内にも水口、水尻、江など、それぞれに環境の違いが存在するのではないかと考えています。

調査のため演習林宿舎の真裏の耕作放棄水田を借りて、江付



演習林裏に造成した水田ビオトープ

きのビオトープを造成しました。そこでビオトープ内の各地点の水質調査や植生調査、水生昆虫の採集を行っています。これらの研究結果が佐渡のビオトープ造成に役立てばうれしいです。

(佐渡研究室 修士1年 原彩峰)

今号では、毎年恒例となっている佐渡島の植物写真 2022 をお届けします。今年度は、5月23-25日の日程で「島嶼生態学特論」佐渡実習が開催され、植物写真家のいがりまさしさんによる写真撮影講座が行われました。実習に参加した学生は、被写体選び、写真の構図決め、露出補正の調節など、様々なポイントについて

学び、各々写真撮影に励んでいました。写真撮影に熱中するにつれて学生の態勢がどんどん低くなり、最後には地面に寝転がって撮影している人もいました。どの写真も学生が撮影した渾身の一枚となっておりますので、楽しんでいただければ幸いです。

(特任助教 古郡憲洋)



「朝露」
新潟大学 修士1年 多田民生



「エンレイソウの後ろ姿」
新潟大学 修士1年 瀧ヶ崎愛理



「無題」
新潟大学 修士1年 武田皓明



「斜面を見下ろすカタクリ」
新潟大学 修士1年 松村拓樹



「春の女王の中身」
新潟大学 修士1年 原彩峰



「クモ目」
新潟大学 修士1年 川崎敬心



「Snake-like Queen of Insect」 静岡大学 Qistan Naufal Faryzan



「自然のコントラスト」
静岡大学 中田修人



「二輪草」
新潟大学 修士1年 富田健斗

編集後記：当演習林では今年度から他大学の共同利用実習が本格的に再開され、コロナ禍の影響で延期や中止となっていた実習を開催することが出来ました。夏場は実習の連続で大変忙しくしていましたが、全国各地から来られた先生や学生さん達と交流することができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。現在は、実習がひと段落し、夏場に採集した研究データの解析などに取り組んでいます。これらの結果についてもいずれ報告できればと考えております。
(特任助教 古郡憲洋)

活動の様子はwebでも紹介しています!

ホームページ

ブログ



共同利用実習募集中!

佐渡演習林では、共同利用実習、調査・研究の受け入れを随時行っています。
お気軽にご相談ください。

新潟大学演習林ニュースレター

編集・発行：新潟大学 佐渡自然共生科学センター 演習林

〒952-2206 新潟県佐渡市小田94-2

tel: 0259-78-2613 fax: 0259-78-2929 e-mail: sadoken2011@gmail.com

ホームページ http://www.agr.niigata-u.ac.jp/fc/sado_html/sado_index.html

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。